

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 24 日作成

事務事業名	通所型介護予防サービス事業 □ 実施計画事業	所属部局	保健福祉部	単位番号	2013- T473				
		所属課室	介護福祉課	課長名	浅利澄子				
基本政策	IV 快適で心のかよいあう都市づくり □ 実施計画事業	所属担当	高齢者福祉担当		担当者名	河西仁美			
			会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17 社会福祉の充実 □ 実施計画事業	予算科目	04	介護	04	01	03	001	01
			<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
施策	29 高齢者福祉の充実 □ 実施計画事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H25 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H25 ~ H26 年度)	法令根拠	<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
			介護保険法115条の45						
事業の内容 事業の概要	事業期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 二次予防事業対象者に対して、要介護状態等となることの予防又は要支援状態の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を行う。	事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
		消耗品	120	その他委託料	5,760				
						計	5,880		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	通所型サービスを立ち上げた。
25年度活動実績	
26年度活動予定	通所型サービスを拡大していく。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
	二次予防事業対象者把握事業において、生活機能の低下の恐れがあると判定された65歳以上の高齢者若しくは要支援1・2該当者。
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
	日常生活支援総合事業に参加することにより、健康状態の維持向上を図る。
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	要介護者の増加を防ぐ。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:調査対象者	人
イ:	
ウ:	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:対象高齢者	人
イ:	
ウ:	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:参加者	人
イ:	
ウ:	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:要支援平均年齢	%
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円		1,470	1,182			
		県支出金	千円		735	591			
		地方債	千円						
		その他	千円		2,441	1,962			
		一般財源	千円		1,234	993			
		事業費計 (A)	千円	0	5,880	4,728	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)+(B)	千円	0	0	5,880	4,728	0	0	0
活動指標		ア:人			5,072.0	5,100.0			
対象指標		ア:人			393.0	400.0			
成果指標		ア:人			13.0	20.0			
上位成果指標		ア: %			82.6	83.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	介護保険法による地域支援事業創設により、介護予防を促進するため開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	介護予防について意識する高齢者は増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「 取り組みしている ⇒【内容】 」 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H25年度から開始する事業である。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	通所型介護予防サービス事業	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 介護保険法に基づき行われる施策である。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 民間からの事業参加が見込まれている。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 介護予防・日常生活支援総合事業に基づき行っている。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 各地区的事業所を増やしていく。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 要支援・二次予防対象者の介護予防における拠点がなくなります。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 新規事業である。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 介護予防・日常生活支援事業に基づく委託事業(単価契約)であるため。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 介護予防・日常生活支援事業に基づく委託事業(単価契約)であるため。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 広く参加者の募集を行っており、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	介護予防・日常生活支援事業の通所型予防サービス事業が社会福祉協議会ど若草地区の2ヶ所で実施となった。今後更に拡大を図っていきたい。地域やボランティアの受け皿の拡大が課題である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																	
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																	
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要																	
・住民や介護保険事業所等へ情報提供を行う。 ・各地区で歩いて通える場所に事業所、団体を配置していく。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成績</td> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table>		コスト水準			削減	維持	増加	成績	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	
	コスト水準																	
	削減	維持	増加															
成績	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
	低下	<input type="checkbox"/>																
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																	
要件を満たす事業所、団体の確保。	成果優先度評価結果																	
	コスト削減優先度評価結果																	